

レジメン登録フォーマット

申請年月日	2019年6月12日		使用開始日																						
登録診療科	内科		申請医師	松永 一美	化学療法委員会承認年月	2019年 7月																			
レジメン名	CDDP+アリムタ(非小細胞肺がん・悪性中皮腫)(ホスアプレビタント)																								
疾患名	非小細胞肺がん(非扁平上皮癌) 悪性中皮腫		適応の備考																						
適応分類	進行・再発																								
1コース日数	21	日間	総コース数	有効な限り	コース	催吐性リスク	高度																		
抗がん剤投与量・投与日 シスプラチン75mg/m <sup>2</sup> day1、アリムタ 500mg/m <sup>2</sup> day1																									
治療スケジュール・投与日程(投与日は●)																									
投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1	主ルート	フィジオ140輸液500mL	1 本 / body	2 時間	●																				
	点滴静注		/	/																					
2	主ルート	フィジオ140輸液500mL	1 本 / body	2 時間	●																				
	点滴静注		/	/																					
3	側管	生食250mL	1 本 / body		●																				
	点滴静注	ホスアプレビタント注150mg	1 本 / body	30 分	●																				
4	側管	ハロ/セロン注ハック0.75mg	1 本 / body		●																				
	点滴静注	デキサート注6.6mg デキサート注1.65mg	1 本 / body 2 本 / body	30 分	● ●																				
5	主ルート	生食100mL アリムタ	1 本 / body 500 mg / m <sup>2</sup>	10 分	● ●																				
	点滴静注		/	/																					
6	主ルート	生食100mL	1 本 / body		●																				
	点滴静注		/	30 分																					
7	主ルート	生食500mL シスプラチン	1 本 / body 75 mg / m <sup>2</sup>	2 時間	● ●																				
	点滴静注		/	/																					
シスプラチンと同量の生食を抜いてから混注する																									
8	側管	フィジオ140輸液500mL	1 本 / body		●																				
	点滴静注		/	2 時間																					
9	側管	フィジオ140輸液500mL	1 本 / body		●																				
	点滴静注		/	2 時間																					
10	主ルート	生食100mL デキサート注6.6mg	1 本 / body 1 本 / body	30 分	● ●																				
	点滴静注		/	/																					
11	主ルート	生食100mL デキサート注6.6mg	1 本 / body 2 本 / body	30 分	● ●	●	●																		
	点滴静注		/	/		●	●																		

【投与上の注意】

・ホスアプレビタントは血管痛が報告されているため、溶解には可能な限り生食250mLを使用すること(最低でも100mL以上)。

・ホスアプレビタントは抗がん剤投与の1時間前に30分かけて点滴すること。

・ホスアプレビタントの次に5-HT3受容体拮抗薬+デキサート注を投与して、その次に抗がん剤を投与すること。

シスプラチン: 希釈は生食のみ。

シスプラチン: 腎毒性軽減のためhydrationが必要。

シスプラチン: 適宜利尿剤を投与

アリムタ: 初回投与の7日以上前からパンピタン末1g(葉酸として、0.5mg)を1日1回連日経口投与、最終投与日から22日目まで可能な限り葉酸を投与する。初回投与の少なくとも7日前に、VB12を1回1mg筋注、その後投与期間中及び投与中止後22日目まで9週毎(3コースごと)にVB12を1回投与